

北海道立近代美術館



1 令和5年度事業実施報告及び美術館評価

(近代美術館)

展覧会の実施状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

近美コレクション 展示室A	1階	~4月9日(日) [8日間] シャガール・イン・プリント 他	4月22日(土) ~6月11日(日) [44日間] 美しいものとの時間 友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩	6月12日(月) ~9月15日(金) 設備修繕工事のため休館	9月16日(土) ~11月12日(日) [51日間] [道単特別展] 揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ	11月13日(月) ~1月12日(金) 設備修繕工事のため休館	1月13日(土) ~3月10日(土) [50日間] [共催特別展] AINU ART ーモレウのうた	3月23日(土)~ 1F 越境者パス
	2階		昭和のガラス工芸 新収蔵品展		アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館 コレクション展		2F 現代ガラスの オノマトペ/片岡球子 「面構」シリーズ/新収蔵品展/この1点 山口蓬春《向日葵》	
特別展 展示室B	[貸館] ~4月2日(日) [2日間] サンリオ展	4月22日(金) ~6月11日(日) [44日間] [貸館] 道新 トリック ×イリュージョン！	6月12日(月) ~9月15日(金) 設備修繕工事のため休館	9月16日(土)~11月12日(日) [51日間] [実行委員会展] STV 札幌テレビ放送創立65周年記念 足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展	11月13日(月) ~1月19日(金) 設備修繕工事のため休館	1月20日(土) ~2月25日(日) [37日間] [共催特別展] SIAF実行委と共催 札幌国際芸術祭2024	[貸館] 第90回記念 独立展 北海道展 3月23日(土) ~31日(日) [8日間]	

【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション（常設展）〉

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	シャガール・イン・プリント／戦時下の北海道美術／この1点を見てほしい。	令和5年 2月11日（土）～ 4月9日（日）	8	1,507	188
第Ⅱ期	友田コレクションの精華／昭和のガラス工芸／新収蔵品展	令和5年 4月22日（土）～ 6月11日（日）	44	7,489	170
第Ⅲ期	越境者パスキン／現代ガラスのオノマトペ／片岡球子「面構」シリーズ／この1点を見てほしい。	令和6年 3月23日（土）～ 6月16日（日）	8	1,147	143
計			60	10,143	169

R4	R3
201	119

〈特別展〉

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史（貸館）		令和5年 2月11日（土）～ 4月2日（日）	2	7,071	3,535
トリック×イリュージョン！（貸館）		令和5年 4月22日（土）～ 6月11日（日）	44	41,138	934
足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展－和の美、再発見。（実行委員会）		令和5年 9月16日（土）～11月12日（日）	51	38,649	757
揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス 小川原脩記念美術館コレクション展（道単）		令和5年 9月16日（土）～11月12日（日）	51	9,094	178
AINU ART－モレウのうた（共同企画）		令和6年 1月13日（土）～ 3月10日（日）	50	9,556	191
札幌国際芸術祭2024 1924-2024 FRAGILE（共同企画）		令和6年 1月20日（土）～ 2月25日（日）	32	13,679	427
第90回記念独立展 北海道展（貸館）		令和6年 3月23日（土）～ 3月31日（日）	8	2,215	276
計			238	121,402	510

R4	R3
1,301	383

○コレクションの活用状況

- ・近美コレクションを3回、当館所蔵品含む特別展を2回（「揺さぶる絵」「札幌国際芸術祭2024」）を開催し、令和4年度と比べ121点増の520点を展示した。

○コレクションの充実度

- ・購入 美術品取得基金を活用、釧路出身の彫刻家藤戸康平 1点。
- ・寄贈 福田美蘭の油彩2点、掛川源一郎の写真、北海道美術館協力会のボランティアとして活動していた方から寄贈された片岡球子の日本画1点など、計161点。これにより令和5年度末の作品総数は6,069点となった。



新収蔵品
藤戸康平 《The Singing of
the Needle》2021年

○保管状況の適切さ

- ・収蔵庫をはじめ館内の害虫調査及び対策を実施した。
- ・所蔵品2点の額に低反射アクリルを装着した。彫刻、油彩、版画合計10点を修復した。

【成果】コレクションの活用、主体的な収集活動、適切な保管環境の保持を実現した。
【課題】貸出先の展示環境の再確認、作品修復の実施などにより保存と活用の両立に努める。IPM（総合的有害生物管理）に基づく取組を継続し、保管環境の保全に努める。

○常設展示の充実度

- ・ 詩人・友田多喜雄氏の活動と氏が当館に寄贈した版画を紹介するほか、アートギャラリー北海道として小川原脩記念美術館の所蔵品を展示し、また3つのガラス展により年間を通じて来場者がガラスを鑑賞できるようにした。年間観覧者数は10,143人。

○特別展示の充実度

- ・ 「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展」「揺さぶる絵」などの大規模展のほか、「札幌国際芸術祭2024」の会場の一つとして所蔵品や現代作家の作品を展示、またアイヌアートの多様性を紹介する「AINU ART」を開催した。年間観覧者数は57,299人。

○入館者増につながる取組の実施

- ・ 常設展や特別展に関連し、ワークショップや作品解説などを実施した。
- ・ HPやSNSの活用、動画制作によって、細やかな情報提供と多様な魅力の発信を行った。

【成果】 常設展示では、西洋と日本の名作版画の友田多喜雄コレクションをまとめて紹介。また、ガラスを通年展示するなど当館のコレクションの特色を示すことができた。特別展示では、国内美術館の名品展や当館学芸員が企画した「揺さぶる絵」「AINU ART」「札幌国際芸術祭2024」など多彩な作品を紹介し幅広い層に当館の利用を促すことができた。

【課題】 移動美術館を開催しなかったことで館外における展示活動は減ったが、今後もウェブを活用した作品紹介や情報提供に努めるとともに、道民の多様なニーズに応えられるよう多彩なジャンルの魅力あふれる展覧会を実施する

○教育普及事業の充実度

- ・スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を通じて当館、知事公館、三岸好太郎美術館の9点について映像、音声、文章による作品解説を公開。札幌北陵高校と連携し、音声を同校生徒の協力により収録した。
- ・展覧会ごとの学芸員による解説（ミュージアム・トーク、講座、見どころ解説、ギャラリー・ツアー等）を可能な限り増やすとともに、外部講師や出品作家による講演会を開催する等、作品理解に結びつく様々な事業を実施した。

○美術情報提供の充実度

- ・SNSでの積極的な美術情報提供につとめ、工事休館中も週2~3回の割合で投稿した。
- ・「北海道リモート・ミュージアム」の動画を新たに3本制作、公開した。
- ・所蔵品のデータを整備し、データベース上で公開する情報の質を向上させた。

【成果】 2度の工事休館や夏季に大型展がなかった影響から、ARSや図書コーナーの利用者やHPのアクセス数は減少したが、HPの整備により音声ガイド案内やリモート・ミュージアム等のデジタルコンテンツに関するページを増設するとともに、SNSを通じた積極的な情報発信を行うことで、利用者からの好評を得た。

【課題】 利用者が美術への理解や関心を深める上で一助となる教育普及事業を充実させる。必要な情報が利用者が届くよう、チラシやHP、SNSを通じて、引き続き積極的な広報展開を進める。

○調査研究の充実度

- ・研究紀要は北海道の作家などに関する計2件の論考を掲載して刊行。
- ・「トリック×イリュージョン」「揺さぶる絵」「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展」「AINU ART」「札幌国際芸術祭2024」図録を刊行。執筆・編集を担当学芸員が行った。

【成果】コレクションの各分野や展覧会等に関する調査研究及び各学芸員の研究課題や関連分野の調査研究を継続的に進めている。

【課題】二次資料について保管、配架スペースを確保しながら、整理を進める必要がある。

○学校との連携の状況

- ・オンライン・アート教室を7校（高校4校、聾学校中等部1校、養護学校高等部1校、高等支援学校1校）計135名を対象に実施した。

オンラインアート教室
説明する学芸員



○地域の関係機関との連携状況

- ・札幌国際芸術祭実行委員会及びアイヌ民族文化財団と共催し、展覧会を開催した。

【成果】オンライン・アート教室では、撮影機材を見直し画質、音質を改善するとともに、学校現場のニーズを細やかに把握することで、各校の事情に適合した授業を展開することができ好評を得た。

【課題】オンラインでは対面式に比べ、学芸員と児童生徒の双方向コミュニケーションに難があり、その改善に取り組む必要がある。

○施設の適切な維持管理

- ・令和4年度より計画していた大規模な設備更新（吸収式冷凍機、エレベータ など）、施設改修工事（屋上防水）を実施した。
- ・施設・設備について、日常の点検・補修に加えて道教委技術職員による定期点検及び職員対象の講習を実施し、必要箇所について補修工事を実施した。

○施設の快適性の向上

- ・カフェスペースを活用し、実行委員会展共催者との協働で期間限定の特設カフェを出店した。また、芸術週間（R5.11.1～7）にはお茶の無料サービスを実施した。
- ・来館者アンケートについて、用紙での回答のほかに、WEB上で回答することができるQRコードを館内に掲示した。



<コラボカフェ 徳光珈琲>

【成果】 施設・設備の更新や点検・補修の実施により施設・設備の不具合が減少した。カフェスペースの活用に対しては来館者から好意的な意見が寄せられ、同スペースの重要性について改めて認識した。

【課題】 施設・設備の老朽化が進んでいることから、引き続き日常の点検、計画的な補修工事を実施するほか、カフェスペースの活用の検討など、来館者の利便性や快適性向上のための継続的な取組を行うことが必要である。

2 令和 6 年度運営計画

(近代美術館)

① 令和 6 年度 道立近代美術館事業費予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和5年度 予算額 (a)	令和6年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要	区分	令和5年度 予算額 (a)	令和6年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要
常設展観覧料収入	7,755	6,968	▲ 787		常設展事業費	13,449	15,471	2,022	常設展（近美コレクション）にかかる経費
特別展（道単）観覧料収入	7,975	7,891	▲ 84		特別展（道単）事業費	11,632	10,232	▲ 1,400	道単開催の特別展にかかる経費
実行委員会展収入	0	0	0	（大規模県の例） 共催展収入20,000	特別展（実行委員会）負担金	4,000	4,000	0	実行委員会主催の特別展にかかる経費
実行委員会展展示室料	0	0	0		教育普及・調査研究資料収集費	669	821	152	美術講演会、普及活動のほか資料調査収集等を行う経費
貸館料収入	10,950	6,711	▲ 4,239	展示室、講堂等利用	親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	親子で美術館を楽しむワークショップなどを行う経費
芸術文化振興基金等収入	3,000	3,000	0		移動美術館	0	0	0	令和5年度から事業休止
キャンパスパートナーシップ	70	70	0		収蔵作品特別緊急修復事業	6,158	161	▲ 5,997	作品修復を行う経費
一般財源	6,401	6,288	▲ 113		その他	38	38	0	
計	36,151	30,928	▲ 5,223			36,151	30,928	▲ 5,223	

② 令和6年度の主な取組

A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用
- 野外彫刻2点（伊藤隆道《風の対話》《光のリズム》）のメンテナンス
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新（継続）

B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ※ 展覧会の内容については別途説明

C 学習の場と情報提供の充実

- 「ウィズ・キッズ'24」に関連し、子どもを対象としたギャラリーツアーを実施
- スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を活用した音声ガイドの充実
- 展覧会に関連した外部講師による講演会等の実施
- HP及びSNSを通じて、展覧会や関連事業の情報を積極的に発信

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- 特別展、自主企画展等に関連した調査・研究及び成果の地域社会への還元
- コレクション研究
- 最新の展示環境に関する情報の収集及び展示のノウハウの研究

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結ぶ「オンラインアート教室」の実施
- 「アートギャラリー北海道」事業として苫小牧市美術博物館所蔵品展の実施
- 札幌市内の画廊及び道現代美術作家と連携した「星の瞬間」展の開催

F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検実施、計画的な補修工事の実施
- カフェスペース新規出店者との協働した取組の検討
- 来館者アンケートの回収率向上のための取組の検討

③ 令和6年度 展覧会事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
近美コレクション 展示室A	<p>(コレクション展Ⅰ期 ※R5年度Ⅱ期を継続) 3月23日(土)～6月16日(日) 70日間 (5月13～17日休館) 新年度62日間 ※展示替</p> <p>【1階】 越境者バスキン</p> <p>【2階】 1・2室:現代ガラスのオノマトペ 3室 片岡球子「面構」シリーズ (3/22～6/16) 4室【この1点を見てほしい。】(～5/12) 山口蓬春《向日葵》 →新収蔵品展 (5/18～6/16)</p>			<p>(コレクション展Ⅱ期) 7月9日(火)～9月26日(木) (8/5-7、26-28、9/6-11休館) 63日間</p> <p>【1階】 1-3室 浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー 4室 岩橋英遠《道産子追憶之巻》</p> <p>【2階】 1・2室 ウイズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの? 3・4室: AGH/港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから</p>			<p>(コレクション展Ⅲ期) 10月12日(土)～12月8日(日) 51日間</p> <p>【1階】 ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう</p> <p>【2階】 1-3室: 岩田藤七の軌跡 4室:【この1点を見てほしい。】 荻須高德《薪炭屋》</p>			<p>【道単自主企画 特別展】 1月5日(日)～3月16日(日) 61日間</p> <p>【1階】 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido</p> <p>【2階】 変貌する20世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ</p>					
特別展等 展示室B	<p>【貸館】STV 「琳派×アニメ」展 尾形光琳、神坂雪佳から鉄腕アトム、リ ラックマ、初音ミクまで 4月20日(土)～6月2日(日) 【38日間】</p>			<p>【実行委員会】道新 国宝「鳥獣戯画」全巻 北海道初公開 京都 高山寺展 —明恵上人と文化財の伝承 7月9日(火)～9月1日(日) 【47日間】</p>			<p>【実行委員会】TVh 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 9月21日(土)～10月27日(日) 【32日間】</p>			<p>【貸館】 北海道書 道連盟 創立70周 年記念展 12/5(木) ～15(日) 【10日間】</p>			<p>【道単自主企画 特別展】 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 1月5日(日)～3月16日(日) 【61日間】</p>		
三岸美術館 関連	<p>#みまのめ Vol.10 12月14日(土)～2月24日(月)</p>														

【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション（常設展）〉

（令和6年6月30日現在）

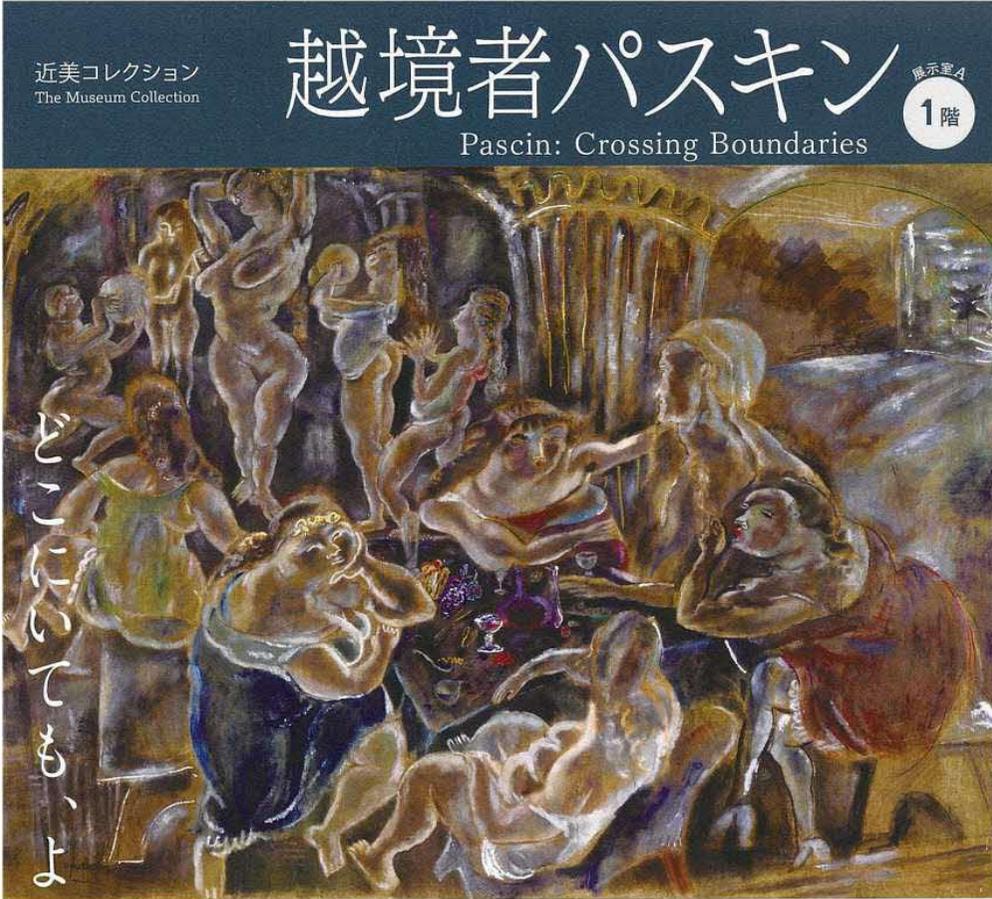
	展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	越境者パスキン／現代ガラスのオノマトペ／片岡球子「面構」シリーズ／この1点を見てほしい。／新収蔵品展	令和6年 3月23日（土）～ 6月16日（日）	62	7,752	125
第Ⅱ期	浮世絵のヒロインたち／岩橋英遠《道産子追憶之巻》／ウィズ・キッズ '24 なぜこのかたちなの？／港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから	令和6年 7月 9日（火）～ 9月26日（木）	63		
第Ⅲ期	ウィズ・キッズ '24 さいきょうのざいりょう／岩田藤七の軌跡／この1点を見てほしい。	令和6年10月12日（土）～12月 8日（日）	51		
計			176		

〈特別展〉

（令和6年6月30日現在）

	展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
	「琳派×アニメ展」（貸館）	令和6年 4月20日（土）～ 6月 2日（日）	38	20,781	546
	京都 高山寺展－明恵上人と文化財の伝承（実行委員会）	令和6年 7月 9日（火）～ 9月 1日（日）	47		
	皇居三の丸尚蔵館展（実行委員会）	令和6年 9月21日（土）～10月27日（日）	32		
	北海道書道連盟創立70周年記念展（貸館）	令和6年12月 5日（木）～12月15日（日）	11		
	星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido（道単）	令和7年 1月 5日（日）～ 3月16日（日）	61		
計			189		

北海道立近代美術館
令和6年(2024年)
展覧会概要



近美コレクション
The Museum Collection

越境者パスキン

Pascin: Crossing Boundaries

展示室A
1階

どこにいても、よそ者だった。



ジュール・パスキン 1923年(撮影:マン・レイ)
© Man. Ray 2019 Trust - 2023, image: Telmasp, Paris

2024.
3.23(土) - 6.16(日)

開館時間 | 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休館日 | 月曜日(4/29、5/6を除く)、4/30(火)、5/7(火)
*展示替えのため5/14(火)から5/17(金)は、展示室Aはご覧いただけません。

観覧料 一般 510(420)円、高大生 250(170)円

料金等は4月から変更になる場合があります。()内は10名以上の団体料金。*無料になる方:65歳以上、中学生以下、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイID利用可)及びその介護者(1名)など。受付で手帳等をご提示ください。*高校生は毎週土曜日及び学校の教育活動で利用する場合は無料。*本料金で「越境者パスキン」「現代ガラスのオノマトペ」「新収蔵品展」の1点を見てほしい。(～5/12)を併せてご覧いただけます。*三岸好太郎美術館との共連携:一般830(670)円、高大生410(270)円 *三岸好太郎美術館の展覧会会期や展示替え休館期間等についてはお問い合わせください。TEL.011-644-8901

主催 | 北海道立近代美術館 後援 | 札幌市、札幌市教育委員会



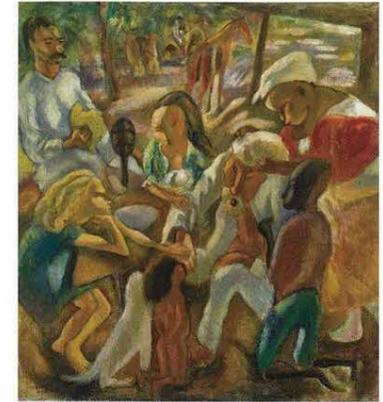
ジュール・パスキン 《二人のモデル》1924年



ジュール・パスキン 《白いリボンの少女》1928年



ジュール・パスキン 《キューバにて》1917年頃



ジュール・パスキン 《良きサマリヤ人》1917年

いずれも当館蔵

展示室A
1階

越境者パスキン

Pascin: Crossing Boundaries

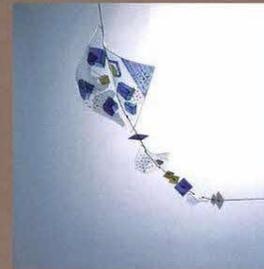
ブルガリアに生まれ、ルーマニアで育ち、ウィーン、ブダペスト、ミュンヘンで学び、パリに移住したジュール・パスキン(1885～1930)。その後アメリカ国籍を取得するなど、生涯越境を続けました。異国の地に自由を求め、貧しい者やみ出し者への共感を持って描いたエコール・ド・パリの画家の世界を巡ります。

展示室A
2階

現代ガラスのオノマトペ

Onomatopoeia in Contemporary Glass

現代ガラスの多彩なかたちは、わたしたちに様々なイメージを喚起します。「ゆらゆら」「くねくね」「もぐもぐ」といったオノマトペ(擬音語、擬態語)をキーワードに、創造性豊かな現代ガラスの世界を探ります。



オーサ・ブランド 《カイト》1988年



カーティス・ブロック 《からみあう石のグループ》1997年



塩谷直美 《真の子窓》2001年
いずれも当館蔵

同時開催

新収蔵品展

New Acquisitions

この1点を見てほしい。
山口蓬春《向日葵》(～5/12)
Enjoy One Special Piece

*5/18～は新収蔵品展を拡大して展示。



山口蓬春 《向日葵》1909年
当館蔵

©公益財団法人J&A東洋生洋学財団

片岡球子「面構」シリーズ

3月23日～6月16日



片岡球子《面構 一休さま》2000年

新収蔵品展

3月23日～6月16日



福田美蘭《婦人像》2000年



富田幸衛
《追分保線区》
1964年



掛川源一郎
《開拓地の兄弟》
1957年

2024
7月9日(火)
～
9月26日(木)
9月

第1～Ⅲ期に分けて開催(作品は総入れ替え)。
第Ⅰ期 (7/9～8/4)
国貞の組物・続き絵(約80点)
第Ⅱ期 (8/8～8/25)
国貞《江戸名所百人美女》(100点)
第Ⅲ期 (8/29～9/26)
国芳、英泉の組物・続き絵(約70点)

*8月6日、7日、27日、28日は、
展示替えのための特別展のみ観覧可。

開館時間：9:30～17:00
(入場は各期開催時間の30分前まで)
7月8日の金曜日は夜間開館のため9:30～19:30
カルチャーナイト(7/19)は9:30～21:00

休館日：月曜日(7/15、8/12、9/16、9/23を除く)。
7/16(水)、8/13(火)、9/6(金)～9/11(木)、
9/17(水)、9/24(火)

観覧料：一般510(420)円。
高大生250(170)円。

* ()内は10名以上の団体料金。
* 無料になる方：65歳以上、中学生以下、
身体障害者手帳や療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
(1名1名ID利用可)、及びその介護者(1名)など。
受付で手帳等をご提示ください。

* 高校生は7/9～8/31まで無料。
また、9/1以降の毎週土曜日及び
学校の教育活動で利用する場合は無料。

* 7/17(通みんの日)、7/21(当館開館記念日)、
7/19(17:00～21:00カルチャーナイト)は、
すべての方が無料。

* 三岸好太郎美術館との共通券もございます。
詳しくはお問い合わせ下さい。

上 溪斎英泉《美人巻の頭》(部分)
当館蔵 第Ⅰ期展示
右上 歌川国貞《御膳屋長子町前》(部分)
当館蔵 第Ⅰ期展示
下 歌川国貞《出世夏景色 朝+1》(部分)
当館蔵 第Ⅰ期展示

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0801 札幌市中央区北一条17丁目
TEL:011-231-0001
FAX:011-231-0002
E-MAIL: info@hokkaido-moa.jp
https://ar.museum.jp/hokkaido/iglp/krh
BOOKING: https://facebook.com/dokuhai
主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会

溪斎英泉

組物・続き絵から
生まれるストーリー

歌川国貞

浮世絵の ヒロインたち展

近美コレクション
Ukiyo-e Heroines:
The Museum Collection
Stories Told in Sets of Ukiyo-e Prints

歌川国芳



浮世絵のヒロインたち
組物・続き絵から生まれる
ストーリー

Ukiyo-e Heroines: Stories Told in Sets of Ukiyo-e Prints

帯広の故・高橋博信が心血を注いで作り上げた、江戸後期の浮世絵コレクション。現在当館所蔵の約五〇〇点の中から、女性を主役(ヒロイン)としながら、場面設定や文化的・社会的背景との関連の中でさまざまなストーリーを想起させる作品を、複数枚からなる「組物」や大画面で構成される「続き絵」を通してご紹介いたします。

展示は3期に分けて、総入れ替えします。第Ⅰ期は、歌川国貞の初期から円熟期の優品を中心に、第Ⅱ期は、国貞晩年の代表作《江戸名所百人美女》〇〇枚組すべてを、第Ⅲ期は、歌川国芳と溪斎英泉、浮世絵師三者三様の魅力ある作品の数々をお楽しみください。

上段左より、第Ⅰ期展示 歌川国貞《深川新地月下の三美人》、第Ⅱ期展示 歌川国貞《江戸名所百人美女 下はし》、江戸名所百人美女(すずらん)、安政5(1858)年、下段左より、第Ⅲ期展示 歌川国芳《美女が橋に大井見》、寛文9(1769)年、松浦信房画、すて、当館蔵。



岩橋英遠《道産子追憶之巻》

IWAHASHI Eien: Hokkaido Reminiscence

岩橋英遠《道産子追憶之巻》(部分)1978-82(昭和53-57)年 当館蔵

ウィズ・キッズ'24

なぜこのかたちなの？

With Kids'24: Why This Shape?

はこ、カップ、お皿。身のまわりの道具は、どんなかたちをしているかな？美術館には、おうちにはない不思議な「かたち」がたくさんあるんだよ！この夏は、みんなの想像がふくらむような作品を紹介します。

何をいれるはこ？

藤田香平《飾皿・溜水物語》
1983(昭和58)年 当館蔵



何が浮かんで
いるんだろう？



赤地綾《波にフカフカ》
1973(昭和48)年 当館蔵

アートギャラリー北海道 港の今昔

苦小牧市美術博物館
コレクションから

Art Gallery Hokkaido: The Past and Present of Tomakomai Port: From the Tomakomai City Museum Collection



坂東史樹《小さくて深い空》(部分)
2019(令和元)年 苦小牧市蔵
撮影：山岸博司

道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」として開催する本展では、街の発展とともに姿を変えてきた港の歴史をテーマに、苦小牧市美術博物館のコレクションをご紹介します。

関連事業

◎ミュージアム・トーク
日時：会期中の日曜日(不定期)
14:00～(約30分)
講師：当館学芸員
会場：当館展示室A(要観覧券)

◎「なぜこのかたちなの？」学芸員とじっくり、作品にふれてみよう！
日時：8月3日(土)、10日(土)15:00～(約30分)
会場：当館展示室A 2階・造形室(要観覧券、高校生以下無料)
対象：小学生 定員：各回約10名(保護者は1名まで付添可)
*事前申込(抽選制)です。詳細は当館ホームページ等をご覧ください。

◎ギャラリー・ツアー
日時：会期中の火～土曜日(祝日を除く)
11:30～、13:00～、14:00～(各回約30分)
ご案内：当館ボランティア
会場：当館展示室A(要観覧券)

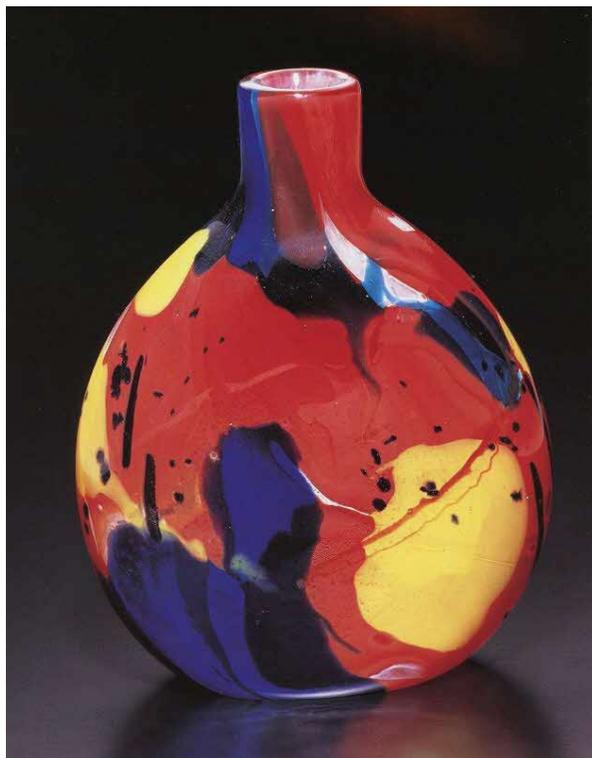
ウィズ・キッズ'24
みる・ふれる・つたえる
さいきょうのざいりょう

温かいガラスへ
岩田藤七の軌跡

この1点を見てほしい。
荻須高德《薪炭屋》



中村木美
《アリスの大ネズミ》2009年



岩田藤七《花器》1966年頃



荻須高德《薪炭屋》1954年

2025年1月5日(日) ~ 3月16日(日)

特別展 会場：展示室A1階、B

星の瞬間

アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido



※参考作品
端聡 《液体は熱エネルギーにより気体となり、冷えて液体に戻る。そうあるべきだ》
2017年 作家蔵

近美コレクション 会場：展示室A2階

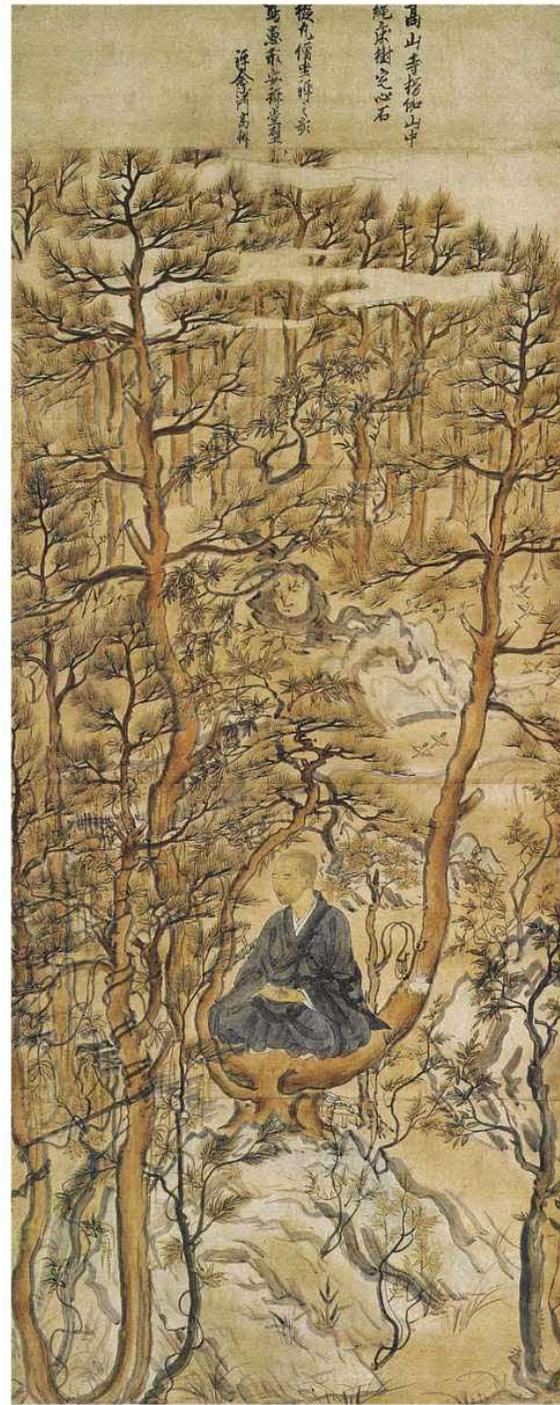
変貌する20世紀 ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ



スタニスラフ・リベンスキー
ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ
《接触》1985年



シモン・ガーテ
《馬に人物文コンポート》
デザイン：1985年
制作：1925年



国宝 鳥獣戯画

京都高山寺展

文化財の伝承 | 明恵上人と

北海道初公開

2024 7.9 TUE - 9.1 SUN

休館日 月曜日(7月15日、8月12日を除く)、7月16日(火)、8月13日(火)

開館時間 9:30～17:00、金曜は9:30～19:30
カルチャー・ナイト(7月19日)は9:30～21:00
(入場は各開館時間の30分前まで)

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art

鳥獣戯画 京都高山寺展

明恵上人と文化財の伝承

京都の高山寺には、中興開祖・明恵上人(1173~1232)にまつわる文化財が数多く伝わっています。12,000点にもおよぶ典籍文書、仏画を中心とする多種多様な絵画、優れた仏師たちが手掛けた彫刻、明恵が生きた時代の息吹を感じさせる工芸品や建築など、驚くべき質と量を誇ります。本展では、明恵の生涯とその教えをたどりつつ、最も親しまれている国宝「鳥獣戯画」をはじめとする高山寺の貴重な文化財の数々を紹介するとともに、それらの伝承を担ってきた高山寺という希有な寺院の実像に迫ります。

章構成

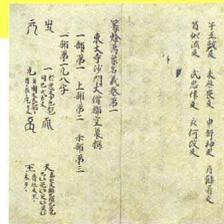
1. 国宝 鳥獣戯画
2. 明恵上人
—高山寺中興の祖
3. 高山寺に伝わる至宝と典籍
4. 近現代の高山寺

春日明神の使い 阿吽を示す雌雄の鹿
明恵が春日大社を参詣した時、30頭の鹿が明恵に向かったという逸話を思い起こさせます。
鎌倉時代13世紀



主催＝北海道立近代美術館、高山寺、北海道新聞社、HTB北海道テレビ、NHK札幌放送局
特別協力＝京都国立博物館
後援＝北海道、札幌市、札幌市教育委員会

日本最古の字典 天下の孤本



中国の字典にならって日本で編まれた漢字字典の現存最古の写本。高山寺の寺として栄えた高山寺には、貴重な研究書が大量に集まった。平安時代 永承5年(1135)



40年書き続けた明恵の夢日記
明恵は、夢を神仏からのメッセージととらえ、青年の頃から最後まで記録し続けた。
鎌倉時代 夢記 第十篇
明恵 承久2年(1220) 承久2年(1223) 前期展示

2024.7.9 TUE - 9.1 SUN

休館日 月曜日(7月15日、8月12日を除く)、7月16日(火)、8月13日(火)
開館時間 9:30~17:00、金曜は9:30~19:30、カルチャー・ナイト(7月19日)は9:30~21:00 (入場は各閉館時間の30分前まで)

観覧料	当日	前売・団体
一般	1,900円	1,600円
高大生	1,200円	900円
中学生	700円	600円

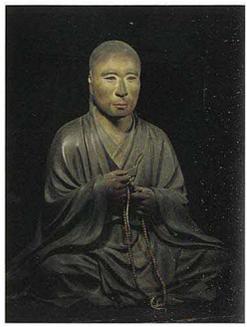
前売券販売所	(7月8日まで)
北海道立近代美術館	(6月16日まで)
道新プレイガイド、展覧会公式ホームページ、HTBコーナー	(さっぽろ地下街ポータルタウン)、ローンチケット(Lコード:12481)、セブネットチケット(Lコード:104-778)、チケットぴあ(Pコード:686-873)、セイコマート店内マルチコピー機(セコマード:024070901)
※7月9日(火)以降、北海道立近代美術館、展覧会公式ホームページほかで当日券を販売します。	

前売限定!! 特典つき!! 4巻観たい方必見!!

「鳥獣戯画」3期セット券 一般 4,200円

「鳥獣戯画」1巻、乙巻、丙・丁巻それぞれの展示期間に1度ずつ入場できる前売券。本展限定の高山寺御朱印をもれなく差し上げます。また、半券の提示により、本展図録を割引価格でお買い求めいただけます。

※御朱印は会場でお引き換えください。
※高大生以上で同料金となります。



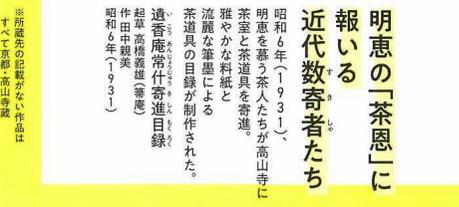
明恵が愛した高山寺のマスコット
明恵が飼っていた黒い犬を模したとされ、明恵やその弟子はもちろん、高山寺を訪れた文化人たちも撫でて可愛がったという。
鎌倉時代13世紀
子犬



明恵の心の母
幼くして父母を失った明恵は、仏眼仏母を母と慕った。24歳の時、この像の前で自分の右耳を切り、修行に邁進する決意を固めた。
鎌倉時代12~13世紀 前期展示
仏眼仏母像



明恵の「茶恩」に報いる近代数寄者たち
昭和6年(1931)、明恵を慕う茶人たちが高山寺に茶室と茶道具を寄進。雅やかな料紙と茶道具の目録が制作された。
遺香庵常任寄進目録(昭和6年)



明恵と高山寺
紀伊国在田(現在の和歌山県有田郡)に生まれ、幼くして仏の道に進んだ明恵は、建永元年(1206)に後鳥羽院から桓尾の地を賜り、高山寺を再興しました。ひたむきに修行に打ち込み率先して範を示した明恵は、多くの弟子に慕われ、皇族や武家の要人からも支持を集めました。それとともに膨大な数の經典や絵画、彫刻等の宝物が高山寺に集まったのです。また明恵は日本で初めて茶園を開いた人物としても知られており、高山寺境内の茶園は「日本最古の茶園」と呼ばれています。平成6年(1994)には明恵時代の唯一の遺構・石水院をはじめとする高山寺の寺域全体が、世界文化遺産に登録されました。

近現代の高山寺をめぐる人々
高山寺に息づく明恵の精神は、時代を問わず様々な人々を惹きつけてきました。明治期の住職・土宜法龍との往復書簡により思索を深めた南方熊雄、明恵の「茶恩」に報いようと高山寺に茶室と茶道具を寄進した近代数寄者たち、明恵の和歌を度々揮毫した川端康成、10年近くの歳月をかけて明恵への思いを綴った白洲正子、独自の視線で高山寺の細部を写した土門拳……。本展では近現代の文化人たちが明恵や高山寺に向けた思慕や憧憬の様子を紹介します。また、永年にわたって高山寺の典籍文書を網羅的に調査研究している高山寺典籍文書総合調査団の歴史を紐解きます。

展示スケジュール	1期(甲巻)		2期(乙巻)		3期(丙・丁巻)	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
展示会場	7/9-7/15	7/17-7/28	7/30-8/4	8/6-8/18	8/20-8/25	8/27-9/1
展示替えをおこないます	前期 7/9-8/4				後期 8/6-9/1	



同時開催
近美コレクション「浮世絵のヒロインたち 着物・続き絵から生まれるストーリー」/
岩橋英遠「道産子追憶之巻」/
ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちの？/
アートギャラリー北海道 港の今昔
吉小牧市美術館博物館コレクションから

交通案内
北海道立近代美術館
※(地下鉄)東西線西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分(JRバス、中央バス)道立近代美術館バス停下車、徒歩1分(徒歩駐車場)ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目。当館から徒歩5分)を割引料金でご利用いただけます。
-美術館利用者を対象とした割引=駐車場入場から20分無料、以降20分ごと130円。当館の押印機で駐車料に押印してください。
-障害者割引=精算前にビッグシャイン窓口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると1時間無料(上記2つの割引は併用不可)。

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 お問い合わせ:011-644-6882

美術館HP <https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb>
@dokinbi
<https://facebook.com/dokinbi>





国宝 伊藤若冲《動植綵絵 群魚図》
江戸時代(18世紀)

皇居三の丸尚蔵館は、代々皇室に受け継がれてきた美術工芸品を保存・調査研究・展示しています。収蔵品は日本の作品を中心に、海外からもたらされた作品も含まれており、その時代や分野も幅広いものです。

本展は、皇室ゆかりの美術作品を北海道でまとめて紹介する、初の本格的な展覧会となります。北海道と京都・江戸とのつながりを示す近世の名品や、北海道行幸啓にまつわる作品、北海道ゆかりの作家の作品など、皇室と北海道をつなぐ優品を一堂に展覧します。その中で近世では、皇室や幕府と関わりを持った松前の画人・蠣崎波響をはじめ、円山応挙、呉春、伊藤若冲、酒井抱一、谷文晁ら著名な絵師による作品が揃い、宮廷文化を感じさせる雅楽器や香道具なども展示されます。近代では横山大観ら帝室技芸員による作品や、山口蓬春、上野山清貫、片岡球子、岩橋英遠など北海道ゆかりの作家の作品を、皇居三の丸尚蔵館の収蔵品を中心に北海道立近代美術館のコレクションなどとあわせて紹介します。

皇居三の丸尚蔵館展
皇室の至宝 北海道ゆかりの名品

第一章



蠣崎波響《狎鉄線花園》
江戸時代、文化10(1813)年頃
北海道立近代美術館蔵

近世絵画のネットワーク
—松前藩と京都・江戸—

松前藩の家老で画人でもあった蠣崎波響は、京都の円山四条派の画家や江戸の文人たちと交流しました。京都の円山応挙や呉春、江戸の谷文晁や酒井抱一などによる皇室に伝わった近世絵画と北の地で花開いた波響作品との競演をお楽しみください。



国宝 伊藤若冲《動植綵絵 紫陽花及鶏図》江戸時代(18世紀)

皇居三の丸尚蔵館展
皇室の至宝
北海道ゆかりの名品

Cherished Treasures from The Museum of the Imperial Collections,
Sanmonmaru Shozokan: Masterpieces Related to Hokkaido

国宝
若冲「動植綵絵」
北海道初公開!

中「紫陽花及鶏図」
「群魚図」を
展示します。



酒井抱一《花鳥十二月月図 菊に小禽図(9月)》
江戸時代、文政6(1823)年



《忍草蒔絵十種香箱》江戸時代(18～19世紀)

テレビ北海道開局35周年記念

2024.9.21[土]—10.27[日]

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日：月曜日(9/23、10/14を除く)、9/24(水)、10/15(火)

主催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、北海道新聞社、日本経済新聞社、京居三の丸尚蔵館

特別協力：文化庁、総合プロジェクト、読売新聞社

助成：令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

協賛：伊藤組グループ、伊藤忠商事株式会社

後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART
〒060-0801 札幌市中央区北1条西17丁目1-1 問い合わせ：011-644-6882
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/kmb>
@dokinbi <https://facebook.com/dokinbi>

展覧会公式ホームページ

<https://www.tvs-hokkaido.co.jp/special/sanmonmaru/>



皇室の至宝

Cherished Treasures from The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan:
Masterpieces Related to Hokkaido

北海道ゆかりの名品



丹山延華《牡丹孔雀図》江戸時代、安永4(1785)年

近代の皇室と北海道

明治時代に入り、天皇をはじめ皇族方が日本各地を訪れるようになり、北海道にも何度か足を運んでいます。その際の写真や訪れた先からの献上品により、皇室と北海道とのつながりを紹介するとともに、当時の北海道の様子を伝える古写真や近代の皇室文化を窺わせる作品を展覧します。

第二章



(左から)
《菊花形ボンボニエール》
昭和9(1934)年
《大張子形ボンボニエール》
昭和9(1934)年
《六角櫃形岩に杜若文ボンボニエール》
昭和13(1938)年



深川製磁《有田焼白地鳳凰模様花瓶》
大正10(1921)年



横山大観《鑑(大八洲)》(部分) 昭和16(1941)年



大蔵省印刷局《明治十四年巡幸写真帖》より
胆振国勇払郡植苗村沼の端御野立場より
宇津内沼景 明治14(1881)年

第三章

北海道と近代美術

皇室に受け継がれてきた美術工芸品には、北海道ゆかりの作家による作品もあります。山口蓬春、そして片岡球子や岩橋英遠など院展で活躍した北海道出身の日本画家をはじめ、小森忍や宮下真一郎北海道で制作した陶芸家など、皇室へ献上された作品や買い上げられた作品をご覧ください。



《現代風俗絵巻》より 山口蓬春「ゴルフ」 昭和3(1928)年

特記以外は皇居三の丸尚蔵館収蔵



小森忍《仿舞紅宝相華紋花瓶》
大正、昭和時代前期(20世紀)

テレビ北海道開局35周年記念

2024. 9.21 [土] - 10.27 [日]

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日：月曜日(9/23、10/14を除く)、9/24(火)、10/15(火)



北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 お問い合わせ：011-644-6882
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb
@dokinbi | https://facebook.com/dokinbi

展覧会公式ホームページ
https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/sannomaru/ 

令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

■「第12回これからの北海道立近代美術館検討会議」の開催

・日 時 令和6年5月15日（水）10時30分～11時30分

・場 所 Web会議システムZoom

・構成員

（敬称略、五十音順）

所 属	職	氏名
株式会社h a k u	代表取締役	菊地 辰徳
北海道大学	名誉教授	北村 清彦
北海道教育大学釧路校	教 授	佐々木 宰
北海道大学大学院文学研究院	教 授	佐々木 亨
前札幌芸術の森美術館	館 長	佐藤 友哉

・議 題

- (1) 「北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査」の結果について
- (2) 「知事公館・近代美術館エリアに関する道民等からの意見聴取」の結果について

知事公館・近代美術館エリアの検討について

北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査結果について（概要）

令和6年（2024年）5月8日
教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

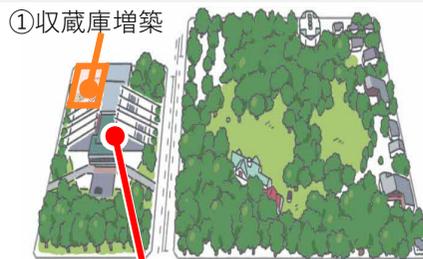
区分

A 改修＋収蔵庫増築

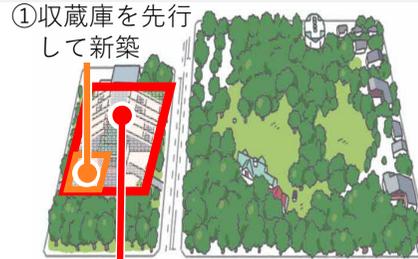
B 現地新築

C 移転新築

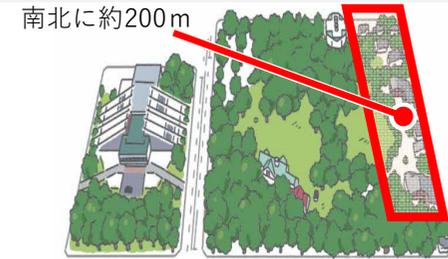
整備イメージ



①収蔵庫増築
②収蔵品移転後、リニューアル改修



①収蔵庫を先行して新築
②本館を解体後、収蔵庫に接するように新築



南北に約200m

社会性 (美術館活動)

- 適切な修繕により機能を維持し、現建物の歴史的価値を継承
- 諸室の規模や配置の自由度が低い
〔収蔵庫増築により、収蔵スペース・諸室の狭あい化は解消〕
- 諸室の転用により、展示替期間中でも鑑賞可能な展示スペースや、子ども向け展示スペースの新設など、必要な機能の確保が可能
- 休館期間 約2年（他県平均約3年）

- 斬新な建築意匠となる可能性
- 諸室の規模や配置の自由度が高い
- 展示替期間中でも鑑賞可能な展示スペースや、子ども向け展示スペースの新設など、必要な機能の確保が可能
- 休館期間 約4年（他県平均約3年）

- 斬新な建築意匠となる可能性
- 諸室の規模や配置の自由度が高い
- 展示替期間中でも鑑賞可能な展示スペースや、子ども向け展示スペースの新設など、必要な機能の確保が可能
- 休館期間 約1年（他県平均約3年）

環境性 (環境への影響)

- 樹木伐採（工事施工箇所）約10本
- 既存建物の活用により廃棄物が最小

- 樹木伐採（工事施工箇所）約50本
- 現近美の解体により廃棄物が最多

- 樹木伐採（工事施工箇所）約160本
- 現近美を解体する場合はB案と同様

経済性

・イニシャルコスト 75～95億円
・ランニングコスト 260～295億円
合計 335～390億円

・イニシャルコスト 165～200億円
・ランニングコスト 285～320億円
合計 450～520億円

・イニシャルコスト 150～185億円
・ランニングコスト 285～320億円
合計 435～505億円

- ※1 イニシャルコストは、他の公立美術館における同様の整備事例の工事費をもとに、物価上昇率等を考慮した上で試算した、近代美術館の建物に係る工事のみの概算額であり、エリア全体の整備に要する概算額ではないこと。
- ※2 ランニングコストは、50年間分の維持費及び大規模改修費の試算額を合計したもので、運用期間中の物価変動は考慮していない。
- ① 維持費は現在の近代美術館の光熱水費等の実績を参考に試算。
 - ② 大規模改修費は、民間維持管理会社へのヒアリングによる、新築工事費に対する修繕費割合に基づき試算し、A案には、リニューアル改修時に実施しない設備等の更新分を、当該費用に上乗せ。

【今後の対応】

本調査結果や知事公館・近代美術館エリアに係る道民等からの意見聴取結果を参考としながら、有識者などの御意見も踏まえ、本年中にも、北海道立近代美術館リニューアル基本構想を策定できるよう取り組む。

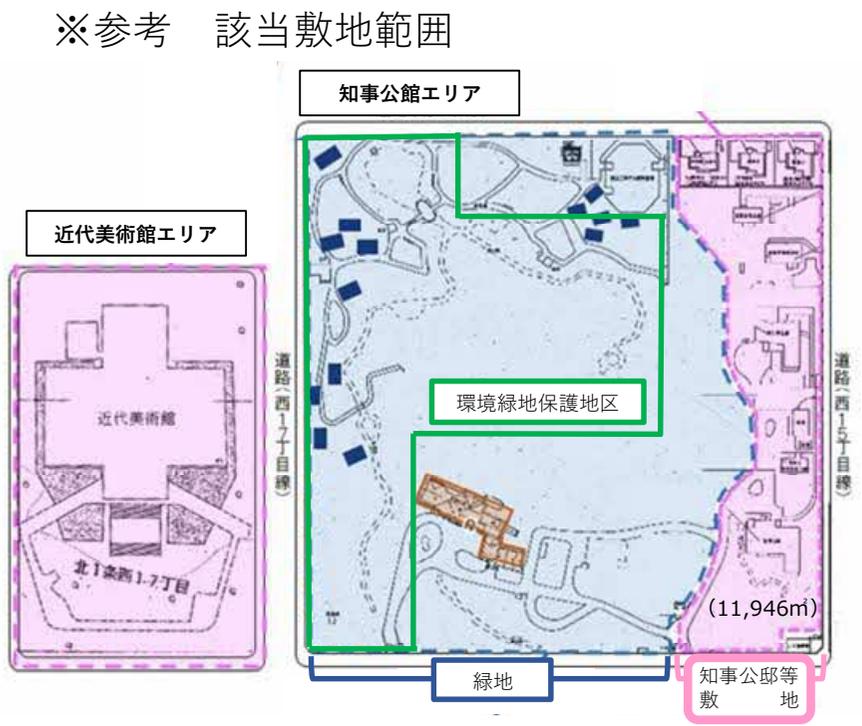
北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査結果について

1 調査業務の目的

「北海道立近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）」で示した3つの整備パターン案（①改修+収蔵庫増築、②現地新築、③移転新築）について、**専門的見地により、一定の条件の下でそれぞれの整備内容を想定し、評価を実施することにより、メリット・デメリットを多角的に分析し、今後の基本構想策定に向けた検討に資する。**

2 調査業務の名称等

項目	内容
業務名	北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査業務
委託事業者	株式会社日本経済研究所（東京都）
委託期間	令和5年（2023年）10月～令和6年（2024年）3月
調査業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・類似事例の整理 ・実現性のある整備規模等の提示 ・エリアの機能・経済性・環境性などの比較項目の設定 ・3つの整備パターン案ごとに評価



3 比較に用いる整備規模等

(単位：㎡)

機能別面積	現在の近代美術館		目安面積		A	B	C
	面積	備考	面積	備考	改修+収蔵庫増築	現地新築	移転新築
整備場所	美術館敷地		—		美術館敷地	美術館敷地	公邸等敷地
整備内容	—		—		・目安面積を満たす必要 最低限の収蔵庫の増築 ・本館の改修	・収蔵庫を先行新築 ・収蔵品移転後に本館解体 ・新収蔵庫に接続する 美術館を新築	・美術館新築
延床面積	9,160	—	11,480	2,870㎡ ÷ 25%	10,060	11,530	11,510
美術館活動	収集保管	1,200	1,790	第1・第2収蔵庫 各収蔵庫前室、車庫、 搬入口、荷解室	1,870	1,870	2,070
	展示	2,870	2,870	現施設と同等	1,410	1,448	1,412
	調査研究	210	210	現施設と同等	2,870	3,030	2,970
	教育普及	440	440	現施設と同等	210	210	220
	情報発信	50	50	現施設と同等	440	440	440
その他	憩い	4,390	6,120	ロビー、ショップ、カ フェ、トイレ、授乳室 事務室、会議室、控 室、機械室	4,620	5,910	5,740
	管理運営						

※ 面積は一の位を切り捨てた概数で示しているため、合計と一致しない

【設定の前提条件】 (現在の近美展示室をもとに、延床面積、収蔵面積を整理)

区分	面積	考え方
延床面積	11,480㎡	他県美術館、文献調査とも延床面積の25%程度が展示面積 (現展示室2,870㎡ ÷ 0.25)
収蔵面積	1,400㎡	文化財公開施設の計画に関する指針※ (平7.8 文化庁文化財保護部) に基づき設定 (現展示室2,870㎡ ÷ 2 ≒ 1,400㎡) ※ 収蔵庫の床面積は、展示室の床面積の半分を目安とするが、将来を見越して十分なスペースをとることが望ましい

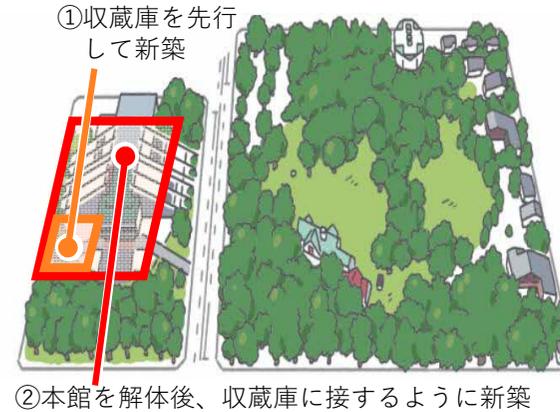
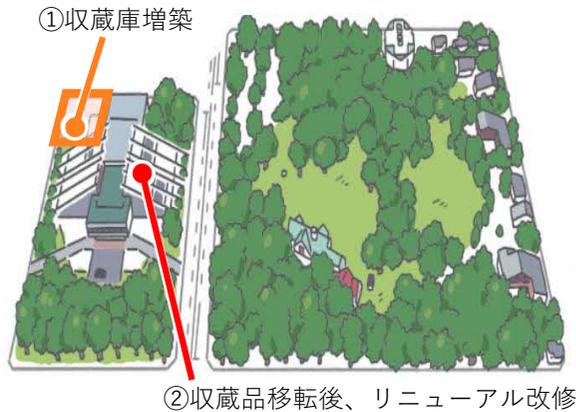
4 比較項目に基づく活用パターンの比較

区分

A 改修+収蔵庫増築

B 現地新築

C 移転新築

 整備
イメージ

社会性 (美術館活動)

展示室の多彩な展覧会への対応

 現在の展示室で対応できる

 現在の展示室と同等以上の機能となる

 現在の展示室と同等以上の機能となる

展示室の温湿度の適切な管理

 今後も適切な設備等の更新により対応できる

 新たに設計するため、対応できる

 新たに設計するため、対応できる

バリアフリーやユニバーサルデザインの整備

 展示室に新たに階段昇降機を設置することにより対応できる

 新たに設計するため、最新設備の導入により対応できる

 新たに設計するため、最新設備の導入により対応できる

くつろぎの空間 (カフェ・レストラン等) の確保

 レストラン・ショップ等のスペースは整備済
 現施設では休館日等は利用できない

 新たに設計するため、レストラン・ショップ等は整備できる
 新たに外から直接入口を設ける場合、休館日等でも利用できる

 新たに設計するため、レストラン・ショップ等は整備できる
 新たに外から直接入口を設ける場合、休館日等でも利用できる

北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査結果について

区分	A 改修+収蔵庫増築	B 現地新築	C 移転新築
将来の収蔵数を見込んだ収蔵庫の設置	○ 増築により、文化庁指針に基づく収蔵面積を確保できる	○ 現施設と同等以上の規模を確保できる	○ 現施設と同等以上の規模を確保できる
その他美術館の機能として必要な各種スペースの確保	○ 諸室の転用により、展示替期間中でも鑑賞可能な展示スペースや、子ども向け展示スペースの新設など、必要な機能の確保が可能 ○ 収蔵庫増築により、諸室の狭あい化は解消	○ 必要な機能の確保が可能	○ 必要な機能の確保が可能
休館期間 (他県平均約3年)	○ 休館期間 約2年	● 休館期間 約4年	○ 休館期間 約1年
駐車場の確保	○ 身障者用3台、大型バス3台	○ 身障者用3台、大型バス6台	○ 身障者用3台、大型バス3台

社会性 (エリアの機能)

区分	A 改修+収蔵庫増築	B 現地新築	C 移転新築
建築物の歴史的・文化的価値の継承	○ 日本建築学会北海道建築賞を受賞した建物であり、適切な修繕により機能を維持し、現建物の歴史的価値を継承できる	○ 解体により現在の意匠は継承されないが、新築のため、斬新な建築意匠となる可能性がある	○ 移転により現在の意匠は継承されないが、新築のため、斬新な建築意匠となる可能性がある
周辺環境との調和 (景観への影響等)	○ 収蔵庫増築のみであるため、影響が小さい	○ 敷地内の緑への影響は最小限にとどめるものの、現行施設の緑との調和イメージが変わる可能性がある	○ 南北に長い建物となるが、緑地との一体的な関係性が体現できる可能性がある
工事計画上の制約 (美術館敷地としての適否)	○ 必要最低限の増築ができる	○ 必要十分な新築ができる	○ 必要十分な新築ができる ● 湿気への対応が必要となる可能性がある

北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査結果について

環境性 (環境への影響)

区分	A 改修+収蔵庫増築	B 現地新築	C 移転新築
樹木の伐採 (工事施工箇所)	○ 約10本	● 約50本	● 約160本
廃棄物の量	○ 既存建物の活用により最少	● 現近美の解体により最多	● 現近美を解体する場合は、B案と同様
大気・水・土 壌等への影響	○ 改修・増築のため、最小	● 現地新築による工程・規模を踏まえると大きい	● 移転新築による工程・規模を踏まえると最大

経済性

区分	A 改修+収蔵庫増築	B 現地新築	C 移転新築
イニシャルコスト	75 ~ 95 億円	165 ~ 200 億円	150 ~ 185 億円
	維持費	100 億円	110 億円
ランニングコスト	大規模改修費	160 ~ 195 億円	175 ~ 210 億円
	小計	260 ~ 295 億円	285 ~ 320 億円
合計	335 ~ 390 億円	450 ~ 520 億円	435 ~ 505 億円

※1 イニシャルコストは他の公立美術館における同様の整備事例の工事費をもとに、物価上昇率等を考慮した上で試算した、近代美術館の建物に係る工事のみの概算額であり、エリア全体の整備に要する概算額ではないこと。

※2 ランニングコストは、50年間分の維持費及び大規模改修費の試算額を合計したもので、運用期間中の物価変動は考慮していない。

① 維持費は現在の近代美術館の光熱水費等の実績を参考に試算。

② 大規模改修費は、民間維持管理会社へのヒアリングによる、新築工事費に対する修繕費割合に基づき試算し、A案には、リニューアル改修時に実施しない設備等の更新分を、当該費用に上乗せ。

5 今後の対応

本調査結果や知事公館・近代美術館エリアに係る道民等からの意見聴取結果を参考としながら、有識者などの御意見も踏まえ、本年中にも、北海道立近代美術館リニューアル基本構想を策定できるよう取り組む。

1. 趣 旨

知事公館・近代美術館エリアの現状を広く周知するとともに、エリアの活用構想の策定に向けて幅広くご意見を伺うため、札幌市及び道内主要都市において意見聴取を行うとともに、道のHPを活用したWEBアンケートを実施。

2. 実施時期

(1) 札幌市

令和5年(2023年)10月7日(土)～9日(月・祝) ※「知事公館・近美推し風景ギャラリー展」にあわせて実施。

(2) 札幌市以外・WEBアンケート

釧路市(釧路芸術館)	1月19日(金)～1月21日(日)	函館市(函館美術館)	1月24日(水)～1月28日(日)
旭川市(旭川美術館)	1月31日(水)～2月4日(日)	帯広市(帯広美術館)	2月14日(水)～2月18日(日)
北見市(北見芸術文化ホール)	2月21日(水)～2月25日(日)	WEBアンケート	1月19日(金)～2月25日(日)

3. 実施方法

各会場にて、エリアの風景写真やスケッチ等を掲載したパネル展示等を行い、来場者に紹介・説明するとともに、このエリアの魅力向上に向けた今後の取組等について、意見を聴取。

4. 実施結果

札幌市	釧路市	函館市	旭川市	帯広市	北見市	WEB	札幌	札幌以外	計	札幌	札幌以外
453件	69件	63件	64件	75件	47件	79件	65件	14件	850件	518件 (60.9%)	332件 (39.1%)

区 分	主な意見
エリア全体	<ul style="list-style-type: none"> 「都会の中の安らげる緑豊かな自然環境を残してほしい」とのご意見が多数を占めた。 そのほか「エリアの魅力発信に一層取り組んでほしい」といったご意見や「駐車場があるとよい」「飲食する場がより充実するとよい」といったご意見をいただいた。
知事公館	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史を感じられる」「自然と建物が一体となっている」など「建物を残してほしい」とのご意見を多数いただいたほか、「イベント等の充実」や「開館日の拡大」を望むご意見があった。
緑地	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間や花見の時期など「開放期間の拡大」を望むご意見のほか、「障がい者の方も利用しやすい緑地にしてほしい」とのご意見をいただいた。
近代美術館	<ul style="list-style-type: none"> 「建築物としての価値を大切に」「2階ロビーからの四季折々のすてきな風景」など「建物を残してほしい」とのご意見をいただいたほか、「建て替えた方がよい」とのご意見もあった。 「展示の充実」や「利便性の向上」を望むご意見があった。

北海道立三岸好太郎美術館



1 令和5年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

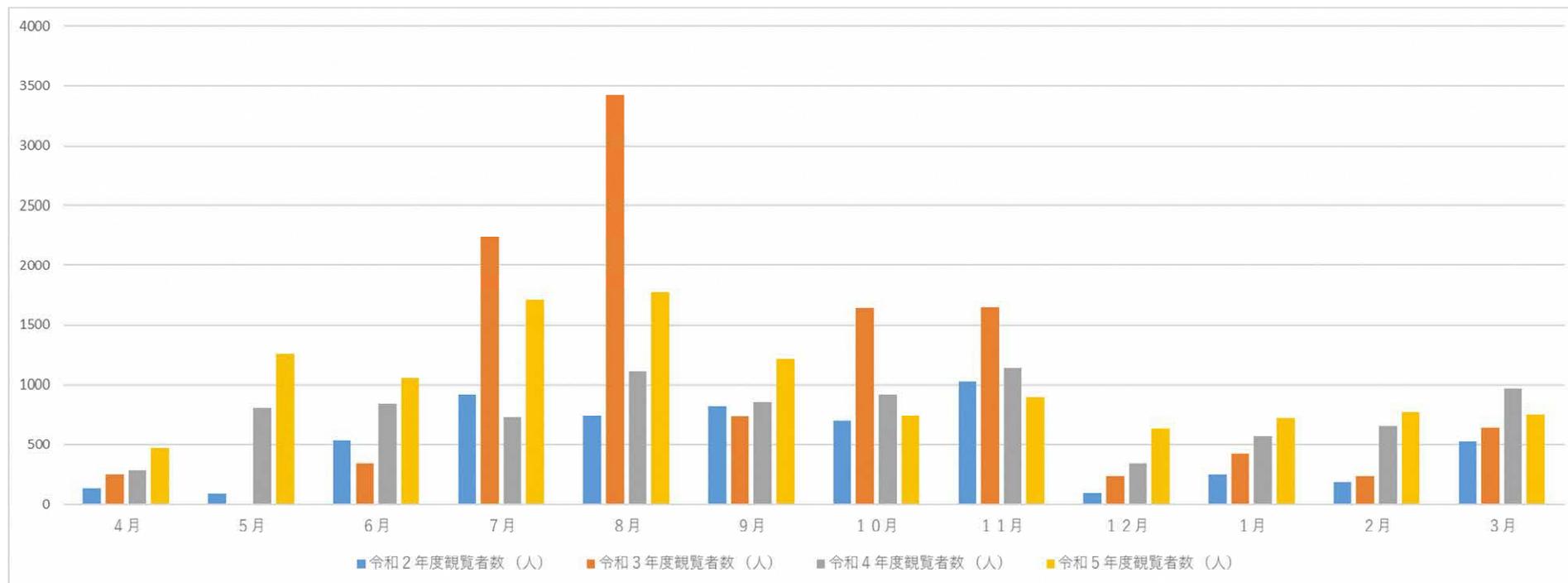
展覧会の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1～6,10,17,19～28	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,6～14,18,24,31	7,14,21,28	4,11,19,25,27～30	1～6,10,16,23,30	13,20,27	4,6～15,18,25,29～31	1～3,9,15,22,29	5,13,19,26～29	4,11,18,25,29～31
展覧会	<p>所蔵品展 4月7日(金)～18日(火) 10日間</p> <p>デコポコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった!</p> <p>※R4年度より継続</p>	<p>所蔵品展 (58日間) 4月29日(土)～7月5日(水)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年</p> <p>道産子が行く。 北海道・札幌一北の風土に育まれた画家の感性は、独特の色彩感覚やロマンティズムをもたらしています。激動する大正～昭和初期の美術界をたくましく進取的に、そして自由奔放に歩んだ道産子・三岸好太郎の魅力に迫ります。</p>	<p>所蔵品展プレミアム (63日間) 7月15日(土)～9月26日(火)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年</p> <p>おばけのマールとたからもの えほん『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』での出会いから15年。ここはすてきなにお気に入り。あるときマールは、たいせつなたいせつなたからものをこぶ旅をしたのでした。いっしょに旅するのはだれ？ むかうのはどこ？ たからものはなに？ そしてそして…。 * 三岸の代表作とともにたのしく展覧会をめぐる。</p>	<p>特別展 (52日間) 10月7日(土)～12月5日(火)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年</p> <p>三岸好太郎再発見! 繊細な詩情に満ちた絵画世界を切り開いた天折の画家の画業と作品にあらためて目を向け、その知られざる側面や芸術の特質などを探ります。</p> <p>■同時開催 もっと知りたい三岸アトリエ</p>	<p>所蔵品展 (81日間 + 12日) 12月16日(土)～4月18日(木)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年</p> <p>恋する画家の陶酔ざんまい 多くの女性への陶酔をはじめ、触れあったさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどりま</p> <p>■併催 AGH事業 12月16日(土)～2月25日(日) 57日間 mima-no-me#みまのめ <VOL.9> 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画9回目。</p>							
連携展示	3～6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6～9月 ミギシ・サテライト			9～12月 ミギシ・サテライト			12～3月 ミギシ・サテライト			
普及事業・関連事業 * 実施可否今後検討			7月下旬～8月中旬 「たんけん美術館」		「マール記念日」		10月～11月 ・特別展関連事業（講演会等）		12月下旬～1月中旬 「たんけん美術館」		12～2月 AGH事業「#みまのめ」	
	10月～3月 三岸好太郎美術館が折り紙になった!											
	<p>(通年) * 所蔵品展展示解説 / 火～土 午後1～3時 (祝日を除く) 解説: 北海道美術館協会解説部ボランティア</p> <p>(随時) * 学芸員トーク/映像機器等利用のミニ講話 (展示室内)。展示のみどころやエピソードなどを学芸員が語ります。</p> <p>(随時) * 館外講座/学校等の要望に応じて、学芸員が館外に出向いて講座を実施。</p>											
(音楽事業)	「マール記念日」 読み聞かせ付きコンサート				「芸術週間」 ミュージアムコンサート							
	* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。											
	□アニヴァーサリー/7月1日は開館記念日(観覧無料) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日)											
	■カルチャーナイト/7月21日(金)				■芸術週間/11月1日(水)～7日(火)							

展覧会の実施状況

(1) 所蔵品展						
期	展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
第1期	デコボコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった! ※R4年度より継続	めまぐるしく変転した三岸の造形には、多様な試みと屈曲のある表現を見ることが出来る。幾重にも塗り重ねた色彩の深み、厚塗りの画面の盛り上がりや凹凸、なめらかさとザラザラの質感の対比、絵の具を引っかけて線を刻む手法、紙や印刷物を貼り付けたコラージュ等々。起伏ある画業とともに、新しい表現を求め続けた実験精神に注目して、造形の展開をたどった。 ■三岸の代表作をモチーフとした新作絵本を紹介する企画の第3回目。《立てる道化》をモチーフにした、絵本作家・やまだなおとの世界を紹介。	4/7[金]～4/18[火]	10日	360人	36人
第2期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 道産子が行く。	北国ののびやかで時に厳しく荒々しい自然。洋館の建つモダンな街並み。ともに生きた故郷の人々。三岸は北海道をこよなく愛した。北の風土に育まれた画家の感性は、独特の色彩感覚やロマンティシズムとして、作品に息づいている。 新しい絵画の創造をめざして、激動する1920-30年代の美術界を、たくましく進取的に、自由奔放に歩んだ道産子・三岸好太郎。その個性的な歩みを「道産子」をキーワードに紹介。	4/29[土]～7/5[水]	58日	2,763人	48人
第3期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 おばけのマールとたからもの	札幌発の人気の絵本『おばけのマール』シリーズ(え・なかいれい ぶん・けーたろう)。シリーズ第四弾として2008年に誕生したのが、当館を舞台とする『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』。本作の原画と合わせ、当館に関連するマールシリーズ『おばけのマールとモーニングのあとで』ならびに本展に合わせて刊行されるシリーズ最新作『おばけのマールとほしぞらのフルコース』の原画を、絵本の中に登場する当館のコレクションと合わせて一堂に展示。	7/15[土]～9/26[火]	63日	4,362人	69人
第4期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 恋する画家の陶酔ざんまい ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 9)	三岸好太郎(1903-1934)は、女性はもちろん、音楽、建築、人形劇、風景など、さまざまな美の世界に陶酔し創造のエッセンスを汲み上げた。 本展では「陶酔」をキーワードに、モダンなライフ・スタイルや、エキゾチックな世界、あまたの女神(ミューズ)たち、音楽からのインスピレーションなど、好太郎の心をふるわせたモチーフの数々を通して、好太郎の表現世界の魅力を紹介。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画9回目。20代～30代の作家4名(岡崎莉望、川尻舜、梶田みなみ、中村まり子)の作品展示。	12/16[土]～2024.3/28[木] (翌年度に継続～4/18[木]) (#みまのめ(VOL. 9)は～2024.3/25[日])	80日	2,624人	33人
計				211日	10,109人	48人
(2) 特別展						
期	展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 三岸好太郎再発見! ■同時開催 もっと知りたい三岸アトリエ	三岸好太郎(1903-1934)は、画家を目指し18歳の年に上京。美術界の新しい動向を貪欲に摂取し、目まぐるしく作風を変遷させながら、画家として大きな注目を集めた。10年ほどの短い画業の中で近代感覚にあふれた清新なイメージの世界を切り開いた。三岸好太郎生誕120年、新館開館40年の節目に当たってその画業と作品を見つめ直し、その足跡や芸術の特質を丁寧に振り返った。 ■三岸が最晩年にエネルギーを傾け、没後に竣工したアトリエ(東京・鷺宮)。現存する国内最古の木造モダニズム建築として貴重なこの建築を写真や資料で紹介。	10/7[土]～12/5[火]	52日	1,892	36人
計				52日		

観覧者数の推移



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度観覧者数	(人)	135	88	536	915	739	818	695	1,025	98	247	185	522	6,003
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569	660	972	9,221
令和5年度観覧者数	(人)	470	1,256	1,054	1,712	1,772	1,221	739	896	634	719	774	754	12,001

優れたコレクションの形成

札幌出身の三段跳び金メダリスト・南部忠平の雄姿を描いた、三岸好太郎《南部の跳躍》を遺族から受託し、コレクションの充実を図った。

所蔵作品の適切な保管

- ・作品の額のガラスを低反射タイプに交換。
- ・素描作品の額の裏板との間に入れる間紙を、順次中性紙に交換。
- ・展示室、収蔵庫等の室温、湿度について、設備管理委託業者と連携を図り常に適切な保管環境維持に努めた。
- ・虫害対策としてトラップを設置し、発生状況をモニタリングした。

コレクションの効果的な活用

「所蔵品展プレミアム おばけのマールとたからもの」展では、「おばけのマール」の絵本原画と当館のコレクションを合わせて展示することにより、幅広い世代に親しんでもらえる展示内容とした。特別展「三岸好太郎再発見！」では、これまで注目されてこなかった好太郎のトラピスト修道院訪問をとりあげ、好太郎のエキゾチック趣味の新たな側面に光を当てた。

【成果】 コレクションの活用・充実、適切な保管を図る取組を実施することができた。

【課題】 詳細画像のデジタル化や作品の適切な保管に向けたさらなる取組が必要。

多様なニーズに応える展覧会の開催

所蔵品展として「道産子が行く。」「おばけのマールとたからもの」「恋する画家の陶酔ざんまい」、特別展として「三岸好太郎再発見!」、AGH事業として「#みまのめVOL.9」を開催し、各期ごとに工夫を凝らして多彩な展覧会を実施し、来館者の高い評価を得た。

観覧者拡充のための工夫

所蔵品展プレミアム「おばけのマールとたからもの」展では、展示室にしながら絵本の世界に入り込めるような工夫をした。特別展では、三岸好太郎とゆかりのあるトラピスチヌ修道から伝統的な木靴（サボ）を拝借して展示し、展覧会の内容を充実させた。「みまのめ」展では、作者が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図った。

館外における鑑賞機会の提供

ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)において4点の作品を順次展示、北海道立帯広美術館において《黄服少女》展示、釧路芸術館において《ラケットを持つ少年と少女と犬》《黄八丈の男》を展示、国立アイヌ博物館において《赤い肩かけの婦人像》《猫》を展示。

【成果】 アンケートで高い評価を得られたとともに、来館者の増加、特にリピーターや児童生徒の数が昨年より増加した。

【課題】 観覧者の再来館を促す働きかけや、児童生徒の観覧の増加に向けて教育活動に活用してもらう取組の周知が必要。

教育普及事業の充実

- ・学芸員によるギャラリー・トーク、ボランティア解説員による展示解説、#みまのめVOL.9出品作家によるアーティスト・トーク、三岸好太郎の孫2名によるギャラリー・トーク及び美術講演会等の実施。
- ・夏休み・冬休み時期中子ども向けプログラム「たんけん美術館」の実施。
- ・開館記念日、道みんなの日、カルチャーナイトなど無料開放の機会にあわせた多彩なプログラムの実施。
- ・マール記念日読み聞かせ付きコンサート、芸術週間ミュージアムコンサートの音楽イベント。
- ・折り紙建築のワークショップの実施。

情報提供の充実

- ・図書コーナーにおける画集、書籍、図録その他関連図書・文献資料などの配架のほか、三岸アトリエやミギシサテライトなどの情報提供。
- ・ホームページ及びSNSを活用して展覧会情報や各種イベント情報、美術館情報などについて高頻度で発信。
- ・ホームページ及び外部リンク（文化遺産オンライン等）で作品情報を提供。

【成果】 例年並みの教育普及活動を再開でき、参加者から高評価を得られた。また、SNSやHPによる積極的な情報発信により閲覧者、フォロワーが増加。

【課題】 図書・資料コーナーの利用促進に向けた取組が必要。

調査・研究の充実度

- ・「三岸好太郎再発見！」展のために、函館市のトラピスチヌ修道院で資料調査を行い、その成果を展覧会を通じて社会に還元した。
- ・令和6年度開催予定の「モダニストの蝶 詩人・安西冬衛と好太郎」展のために、堺市中央図書館で資料調査を行った。
- ・三岸好太郎の作品に関する情報（2件）について聞き取りを行って記録し、作品情報の充実を図った。

【成果】 展覧会に係る資料調査や聞き取り調査による研究成果を展覧会に反映させ、展示内容や作品情報の充実を図ることができた。

【課題】 学芸員の研修は自己研鑽に依るところが大きい状況のため、引き続き調査・研究、研修の機会の確保及び充実を図ることが必要。

【基本的運営方針】 E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上 評価 B

多様な機関との連携・協力

- ・北海道美術館協力会との連携・協力（ボランティア解説員による展示解説、北海道美術館協力会主催講座への施設提供、研修会への講師派遣。）
- ・北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携したスイーツ交換券の配布により、美術館と北菓楼札幌本館との人の流れを創出。
- ・#みまのめVOL.9開催による北海道ゆかりの若手作家の表現活動の紹介及び出品作家によるアーティスト・トークの実施。

学校等の教育機関との連携・支援

- ・余市養護学校高等部に「オンラインアート教室」を実施。
- ・道立近代美術館博物館実習の実習生受け入れ。
- ・道立近代美術館指導者研修の研修生受け入れ。
- ・札幌市立北九条小学校3年生を対象に出前授業を実施。

【成果】 関係機関との連携・協力を強化し、サービス向上を図ることができたほか、出前授業やオンラインアート教室により、子どもたちの鑑賞機会の提供に寄与できた。

【課題】 連携する施設や団体の拡充と取組の充実及び学校を対象とした鑑賞事業の充実。

施設の適切な維持管理

- ・ 定期検査等で常に施設設備の機能や安全性を点検し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対して速やかに修繕又は改修を行った。
- ・ 展示室内に漏水が発生したが、館職員が設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り適切に対応した。
- ・ 水道管破損に伴う漏水が発生したが、臨時休館にするとともに、工事業者と連携を図り適切に対応した。事業者による絵はがきや図録など関連商品の販売及び軽食の提供を行った。

施設の快適性の向上

- ・ 受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。
- ・ 館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。

【成果】 鑑賞環境やショップ、スタッフの接客等について、来館者から高い満足度を得ることができた。

【課題】 施設の老朽化による不具合対応や展示室の壁等の劣化への対応が必要。

令和6年度事業計画

2024						2025								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
休館日	1~4,8,15,19~26,30	7,13,20,27	3,10,17,24	1,5~12,16,22,29	5,13,19,26	2,9,17,24,26~30	1~4,7,15,21,28	11,18,25	2,4~13,16,23,29~31	1~3,6,14,20,27	3,10,17,25~28	3,10,17,24,28~31		
展覧会	所蔵品展 第1期 (12日間) 4月5日(金)~18日(木) 恋する画家の陶酔ざんまい ※R5年度より継続		所蔵品展 第2期(59日間) 4月27日(土)~7月4日(木) モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢的イメージの世界を切り開いた三岸好太郎、「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいをご覧ください。 ■同時開催 好太郎が描く男たち			所蔵品展 第3期(64日間) 7月13日(土)~9月25日(水) ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき 「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのものを組み合わせることでみだされる、好太郎の絵画世界の魅力をひもときます。 ■同時開催 好太郎とマリオネット			特別展(52日間) 10月5日(土)~12月3日(火) わがこころの街 —好太郎と画家たちの札幌 好太郎がふるさと・札幌で描いた诗情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた古き良き時代の札幌風景を紹介します。大正から昭和にかけての、ノスタルジックな札幌のイメージをご堪能ください。			所蔵品展 第4期(年度内81日間+次年度13日間) 12月14日(土)~4月18日(金) 「匂ふやうな灰色」 —好太郎・乳白色の世界へ 好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼びました。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付けます。 ■併催 AGH事業 12月14日(土)~2月24日(月振)(58日間) mima-no-me#みまのめ(VOL.10) 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画10回目。		
	連携展示	3~6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6~9月 ミギシ・サテライト			9~12月 ミギシ・サテライト			12~3月 ミギシ・サテライト				
普及事業・関連事業	6月8日(土) 詩の朗読会 6月29日(土) 「日本の詩を歌う」		7月下旬~8月中旬 「たんけん美術館」 8月10日(土) 人形劇(大谷短大)			10月19日(土) 街歩きツアー		11月3日(祝・日) 講演会		12月中旬~2月下旬「たんけん美術館」 12月21日(土)「マ〜ル記念日」読み聞かせコンサート 12~2月 AGH事業 「#みまのめ」アーティスト・トーク				
(音楽事業)	5月18日(土) ミニ・リサイタル(教育大)		7月19日(金) ミニ・リサイタル(過年度公募者)			10月12日(土) ミニ・リサイタル(大谷大)		11月2日(土) ミニ・リサイタル(過年度公募者)						
(通年) * 所蔵品展展示解説 / 火~土 午後1~3時(祝日を除く) 解説: 北海道美術館協会解説部ボランティア (随時) * 学芸員トーク/映像機器等利用のミニ講話(展示室内)。展示のみどころやエピソードなどを学芸員が語ります。1か月に1回程度。 (随時) * 館外講座/学校等の要望に応じて、学芸員が館外に出向いて講座を実施。														
* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献・美術図書等を閲覧できます。 □アニヴァーサリー/7月2日は開館記念日(観覧無料+イベント) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日) ■カルチャーナイト/7月19日(金) ■芸術週間/11月1日(金)~7日(木)														

令和6年度展覧会事業

(1) 所蔵品展					観覧者数	
展覧会名		内容	開催期間	日数	人数計	1日当たり
第1期	恋する画家の陶酔ざんまい ※R5年度より継続	多くの女性への陶酔を始め、触れあったさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどる。	4/5[金]～4/18[木]	12日	422人	35人
第2期	モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 ■同時開催 好太郎が描く男たち	蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢的イメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいを紹介する。 ■多彩な女性像で知られる三岸好太郎が描く奥深い味わいの男性像を紹介する。	4/27[土]～7/4[木]	59日	2,789人	47人
第3期	ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき ■同時開催 好太郎とマリオンネット	「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのものを組み合わせることでうみだされる、好太郎の絵画世界の魅力をひもとく。 ■手のひらに収まるような小さな操り人形をモチーフに、奇怪なイメージが生み出された《マリオンネット》。好太郎と人形劇のかかわりやその周辺の人間群像などの背景も紹介する。	7/13[土]～9/25[水]	64日		0人
第4期	「匂ふやうな灰色」 －好太郎・乳白色の世界へ ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 10)	好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼んだ。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付ける。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画10回目。	12/14[土]～2025.3/27[木] (翌年度に継続～4/18[金]) (#みまのめ(VOL. 10)は～2025.2/24[月振])	81日		0人
計				216日	3,211人	
(2) 特別展					観覧者数	
展覧会名		内容	開催期間	日数	人数計	1日当たり
わがこころの街 －好太郎と画家たちの札幌		好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた、大正から昭和にかけてのノスタルジックな札幌のイメージを堪能できる、古き良き時代の札幌風景を紹介する。	10/5[土]～12/3[火]	52日		0人
計				52日		

令和6年度 三岸好太郎美術館事業予算状況

(千円)

歳入予算				歳出予算			
区分	令和5年度	令和6年度	摘要	区分	令和5年度	令和6年度	摘要
観覧料（常設展・特別展）	2,566	2,511		展覧会	常設展	2,786	2,947 AGH含む
その他	1,109	111 AGH含む			特別展	3,293	1,817
一般財源	3,847	3,785		教育普及	155	423 親子ふれあい含む	
				調査研究	98	54	
				維持運営費	1,190	1,166	
計	7,522	6,407		計	7,522	6,407	